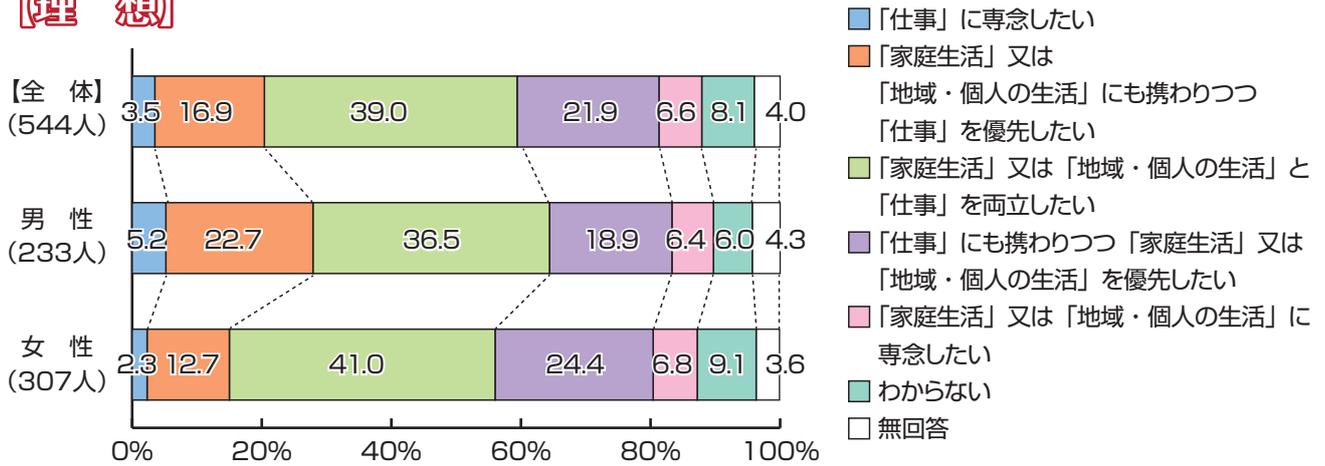


知っここ！男女共同参画⑤

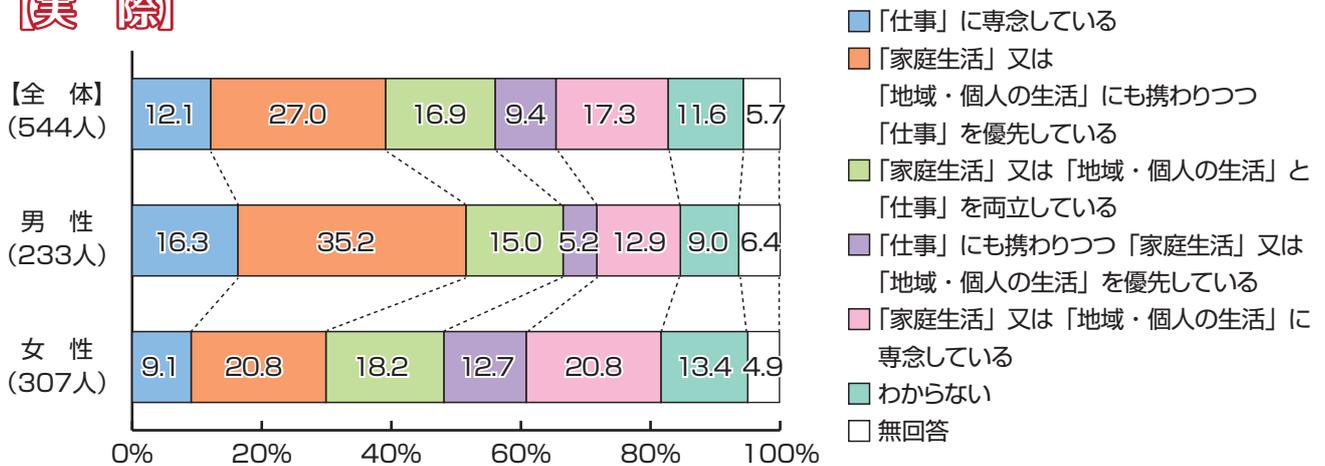
秋も深くなり気温も低くなってきました。外は一気に秋色に染まり、紅葉や黄葉を楽しみながら、冬に備える11月です。今月号は、市民意識調査のアンケート結果からワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の理想と実際について、お知らせします。皆さんのワーク・ライフ・バランスはどれくらい出来てますか？

**問14 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況について、理想はどうあるべきだと思いますか。また、実際はどうですか。**

**理想**



**実際**



**推察➤** 【理想】では、「家庭生活又は地域・個人の生活と仕事を両立したい」と回答した方が多く、全体39.0%（男性で36.5%、女性で41.0%）となっており、【実際】では、全体16.9%（男性で15.0%、女性18.2%）となっています。【実際】での回答が多かったのは『「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ「仕事」を優先している』で全体27.0%（男性35.2%、女性20.8%）となっていました。この結果をみると、家庭生活などと仕事の両立を望んでいるにもかかわらず、仕事上の責任を果たすことに時間を取られ、家庭や地域生活に時間を費やすことが難しい労働環境であると推察します。一概には言えませんが、仕事がうまくいくと私生活でも心のゆとりを持つことができ、また、私生活が充実することで仕事の効率も上がると思われます。近年、女性の就業率や共働き世代が増加し、今後さらに多様化が見込まれる日本人の働き方ではありますが、性別に関係なく、一人ひとりの個人や地域・職場などで輝けるよう、一部の古い習慣又は仕事等を改めていく重要性が求められています。